

千葉県知事 熊谷 俊人 様

生活協同組合コープみらい
理事長 新井 ちとせ

2020年度ちばSSKプロジェクト等に関する取り組み報告書

2021年4月20日

*数値は2021年3月20日時点

1. 報告

生活協同組合コープみらいの2020年度「ちばSSKプロジェクト等に関する取り組みの年間計画」に基づく、ちばSSKプロジェクトに関する活動状況を報告します。

2. 2020年度計画のまとめ

生活協同組合コープみらいは、商品の宅配など日々の業務と組合員の活動を通して、高齢者の見守りをはじめとする「ちばSSKプロジェクト」の取り組みに協力しました。

I 高齢者の見守り

- (1) 県内の全市町村と締結している高齢者の見守り協定に基づき、コープデリ宅配・店舗事業の中で異変を発見した際に、市区町村や警察等へ通報します。
- ▶2020年度に宅配事業と店舗事業において、業務中に異変などを発見し、通報した件数は30件（宅配22件、店舗8件）でした。

【見守り事例】

夕食宅配の配達に伺ったところ、前日にお届けしたお弁当がそのまま残っていたため呼び鈴と電話連絡を行うも反応がなく、市の介護福祉課へ連絡。後日、介護福祉課より組合員は自宅内で倒れており緊急搬送されたものの、命に別状はなかったと報告があった。

- ▶コープみらいの移動店舗ふれあい便では、袖ヶ浦市にあるミニコープ蔵波店を拠点に、市原市、木更津市、君津市の買い物が困難な地域や高齢化の進んだ団地、高齢者施設等64か所の停留所を週1回巡回し、高齢者の買い物を支援しました。
- (2) 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。
- ▶新地域支援事業に関する会議
- ・四街道市たすけあい連絡会
 - ・市川市地域ケア推進会議（コロナウイルスの影響により延期）
 - ・白井市生活支援体制第1層協議体会議（コロナウイルスの影響により中止）
 - ・白井市ふれあい会議第2層協議体B圏域（コロナウイルスの影響により中止）

- ・一宮町地域支援ネットワーク会議（コロナウイルスの影響により書面開催）
- ▶高齢者見守り等に関する会議
 - ・佐倉市高齢者見守り協力事業者ネットワーク事業情報交換会（Zoom 開催）
 - ・松戸市高齢者等の見守り活動に関する締結事業者の定例会
（コロナウイルスの影響により中止、書面による活動実績報告）
 - ・白井市高齢者見守りネットワーク連絡会議（コロナウイルスの影響により中止）
 - ・館山市高齢者見守りネットワーク報告会（コロナウイルスの影響により中止）

II 「ちばSSKプロジェクト」

- (1) 「ちばSSKプロジェクト」の施策を周知するために、情報紙「ちばインフォメーション」（県内 35 万部発行）等の広報媒体の中で、「ちばSSKプロジェクト」について紹介します。
 - ▶「ちばインフォメーション」11 月 16 日号に、「ちばSSKプロジェクト」の紹介とともに、コープみらいでの対応事例について掲載しました（添付資料①）。

III 認知症対策

- (1) 職員や組合員、地域の方を対象に、認知症サポーター養成研修を実施します。
 - ▶コープみらいでは、2009 年度より採用時研修の中で認知症サポーター養成講座を実施しています。また、各事業所の責任者が認知症サポーター養成の講習ができるように講座を受け、各事業所で講習を行なっています。認知症に対する知識と理解を持って、地域における見守り活動を進めています。2020 年度はコロナウイルスの影響により実開催の講座が中止となりましたが、2021 年 2 月よりオンラン講座を新設し、3 回の養成講座で新たに 14 人のサポーターを養成しました。
 - ▶組合員活動でも山武市地域包括支援センターの協力のもと認知症サポーター養成講座を実施する予定でしたが、コロナウイルスの影響を受け延期となりました。
 - ▶松戸市常盤平地域包括支援センターの認知症カフェの会場提供も、コロナウイルスの影響により実施できませんでした。

IV 高齢者の生きがい、健康、仲間づくり

- (1) 組合員と地域の方が気軽に参加できる“地域に開かれた笑顔あふれる居場所”「みらいひろば」を県内各地で開催し、高齢者も含め多世代間の交流を進めます。
 - ▶今年度は多くの会場がコロナウイルスの影響を受け開催できませんでしたが、県内 70 会場のうち 27 会場で延べ 373 人の参加がありました。例年では高齢者も多数参加し、高齢者の仲間づくりや多世代交流の場としての役割を果たしています。

【みらいひろばでの事例】

コロナウイルスの影響により、8ヶ月もの長い間顔を会わせることがなかったメンバ

一さんとの笑顔の再会に心が弾みました。密を避け会場も変更し感染症対策を行うなかでの開催でしたが、近況報告などおしゃべりだけであつという間の時間でした。家族以外の知り合いと話すことで、自粛期間中のストレスが解消しました。

(2) 組合員と地域の方のグループ活動を応援する「地域クラブ」の制度を通して、高齢者の生きがい、健康、仲間づくりを応援します。

- ▶「地域クラブ」の登録数は全体で980件（全世代含む）となり、高齢者も含め食・健康・福祉などをテーマに生き生きと活動しています。また、高齢者のくらしをサポートする活動も活発に行なわれています。

【地域クラブの事例】

地域クラブ「野菜のカフェの会」では、鎌ヶ谷市の団地の空き店舗を借りて、地元農家の新鮮な野菜の販売を行いながら、地域住民の交流の場として週1回開催しています。高齢者を買い物難民や引きこもりにさせたくないという思いからスタートし、感染症対策をしながら安心して過ごせる場として活動しています。

(3) 食育プログラムやエコプログラムを、老人クラブなど高齢者向けに実施します。

- ▶食育プログラム及びエコプログラムともに、コロナウイルスの影響により高齢者向けには実施することが出来ませんでした。

(4) 自治体の進める「生活支援体制整備事業」への貢献を目的に、一層・二層の協議体への参加、地域包括ケアシステムにおける地域コミュニティへの参画や社会福祉協議会との協働を進めます。

- ▶第一層・第二層協議体への参加は、「2. 各自治体が開催する高齢者の見守りに関する会議に参加します。」の報告に記載したとおりです。
- ▶まつど市民活動サポートセンターが主催する防災学習会にて、支援者を対象に「高齢者が災害を乗り越えるために必要な防災・減災」プログラムを行い、日ごろの備え・共助の大切さを考える機会を醸成しました。

V 高齢者の安全、安心

(1) 千葉県くらし安全推進課と連携し、情報紙「ちばインフォメーション」に高齢者の消費者被害防止に向けた啓発記事を掲載します。

- ▶「ちばインフォメーション」に、「消費者被害防止」「交通安全運動」等に関する啓発記事やイベント等の情報を計10回掲載しました（添付資料②）
- ▶「みらいひろば」の参加者向けに配布する通信にて「新型コロナウイルスに関連した悪質商法や根拠のない商品」について注意喚起を掲載し、高齢者の消費者被害防止の注意喚起を行いました（添付資料③）。

- ▶コープ花見川店サービスカウンター横で、千葉市消費生活センターが2か月に1回相談窓口を設置し、消費者センターの紹介及び簡単な相談を受け付けていましたが、2020年度はコロナウイルスの影響により実施できませんでした。
- ▶ちばし消費者応援団への登録から消費者被害の情報の提供を行ないました。

以上